

意見交換会の主なやり取り(10/17分)

～再活用に関する意見～

- ・農業として使いきれない広さ。用途を縛らず、全国に発信しアイデアを求めた方が良い。
- ・“空いているから使う”という発想に無理があり失敗を招いたのではないか。
- ・先端技術を使った農業を誘致してはどうか。(視察の受入れで収益化)
- ・電気代などの負担に関する市の考え方は？
→原則的には、特定の営利事業に対して皆さんからいただいた税で賄うという考えはない。
- ・シェアルームを全て埋めるのは困難。大手企業に見てもらい棟ごと借り手を求めてはどうか。
- ・民間でペイするような事業をするのは難しい。農業をPRするような展示、試食などができる場所はどうか。(地域おこし協力隊の活用)
- ・道の駅のようなものがあるといいが、国道からの入り口が分かりにくく、看板の設置など誘導が必要。
- ・JAと行政(県・市)が一緒になって、農業の拠点施設に。
- ・甘太くんの選果場や直売所などの施設整備を。
- ・生産や収穫だけでなく、出荷まで含めた農業体験ができるように。
- ・拙速な判断は避けるべき。臼杵地域の住民も含めた市民参加の機会を。
- ・全国どこも同じような課題があり、自治体間競争をする中では、精緻なリサーチが必要。
- ・民間に丸投げしておまかせ、ではうまくいかない。
- ・用途にも柔軟性を持たせ、常に流れや動きをつけることも大切。
- ・ワーケーションやサテライトオフィスを20年前に臼杵市に提案したが、反応が薄かった。市の幹部だけで判断するのではなく、未来のことを考えて判断してもらいたい。
- ・野津高と言えば福祉科。高齢者福祉の施設を。
- ・次世代太陽光発電の実験場などエネルギーの循環ができる施設に。
- ・アーティストに空き教室を貸すなど。公民館のサブ的機能を持たせてはどうか？

～検証結果報告等に対する質疑～

- ・市民としては整備に使ったお金を回収してほしい。市長と副市長の減給で幕引きのようになっているが、使われたお金と比較してもつり合いが取れない。政治家としてどう受け止めているのか。
 - 土地建物の購入と解体必要は民間事業者とは関係なく必要だった費用。普通教室棟の改修(2.5億円)だが、市の整備は共用部分のみで、民間事業用の整備は全て事業者負担。これまでの事業者が使う分まで全て臼杵市が整備していたような例と比較すると、条件的にはかなり事業者にとっては厳しい条件だった。改修費用の無駄という意味では、この施設を活用しない時に無駄になると言える。
県から土地と建物購入する際、市が購入しなければ県は民間に売却するということだった。野津高校は当時の野津町民の土地(92%)を無償で提供して建てられたもの。
今回のケースは市が大家、事業者が店子という関係であり、建物を活用するうえで最低限の部分は大家が行い、事業者が事業に使う部分は店子である事業者が自費で改修した。
無駄にしないためにも再活用を、と考えている。
- ・行政のやることを見ていると、本当に採算を考えてやっているのかと思うことが多い。本当に子ども達のこと、未来のことを考えているのか。
- ・前回うまくいかなかったのは、野津の人を見ていなかったから。再活用にあたっては、地元民の協力のもと、高齢者、子ども、障がい者などのための施設とし、人口を増やし税収を増やしていくことで、使われた税金を回収していくしかないと思う。
- ・前利活用事業者の犯罪性について、監査報告等を見ると、“実現性が低い”、“事業者による名称変更の申し出があった”などの記載があった。普通に考えると、こういう事業者を選ぶことはないのではないか。なぜそんな企業を選んだのか。市として事業者を訴えないのはなぜか。
 - 個人の人権にも配慮しなければならない地方自治体として、確たる証拠もない中で軽々に告訴するという事は考えられない。
- ・事業者が整備した2億円の根拠は？
 - 必ずしも全てではないが、事業者から提出された契約書や領収書で確認している。